

台湾造紙工業統計(2018)

台湾造紙工業統計 2019 年版より、2018 年までの台湾製紙産業の状況を紹介する。

台湾の製紙産業の概況

2018 年の台湾の製紙産業は、国内外の経済に恵まれ、再び成長を示した。2018 年の台湾の紙・板紙生産量は直近 10 年間で最も多い 4,254 千トンに達し、前年比 5.7%増加した。紙の生産は 881 千トン（前年比 2.0%減）で、紙・板紙全体の 20.7%を占めた。板紙の生産は 3,373 千トン（前年比 7.9%増）で、全体の 79.3%を占めた。

紙・板紙生産は品種ごとに状況が異なった。段ボール原紙は前年比 9%増であった反面、白板紙は前年比横ばい、衛生用紙は前年比 2.1%減、印刷・情報用紙は前年比 1.4%減であった。

紙・板紙出荷量は 4,242 千トン（前年比 5.7%増）で、国内出荷量は 2,796 千トン（前年比 7.5%増）、輸出量は 1,446 千トン（前年比 2.2%増）であった。紙、板紙別に見ると、板紙市場がより好調である。国内出荷量と輸出量は、それぞれ前年比 12.3%、3.2%増加した。反対に、紙の国内出荷量と輸出量は、それぞれ前年比 5.9%、3.0%減少した。

紙・板紙輸入量は 1,537 千トン（前年比 1.1%減）であった。紙は 1,100 千トン（前年比 0.4%減）、板紙は 437 千トン（前年比 2.7%減）であった。

紙・板紙消費量は 4,344 千トン（前年比 4.4%増）で、紙は 1,757 千トン（前年比 0.9%減）、板紙は 2,587 千トン（前年比 8.3%増）であった。一人当たりの年間紙・板紙消費量は 184.2kg に増加した。

製紙用繊維原料の需給は、パルプ生産量は 250 千トン（前年比 5.6%減）、パルプ輸入量は 802 千トン（前年比 7.5%減）であった。輸入パルプは、パルプ消費量の 76.7%を占めた。

古紙消費量は 3,955 千トンであった。このうち、国内回収古紙は 2,690 千トン（前年比 11.6%増）で、古紙消費量全体の 68.0%を占めた。台湾造紙協会のメンバーは品質強化、原料の最適化、リサイクルサプライチェーンにおける原料管理の重視に努めている。古紙受け入れ時の検査において、品質基準を強化した。板紙生産の増加に伴い、国内需要の不足分を補うため、1,265 千トン（前年比 12.6%増）の古紙が輸入された。（古紙消費量全体の 32.0%）。

古紙回収率は 65.7%、古紙利用率は 93.0%（国際算出法による古紙利用率＝古紙消費量/紙・板紙生産量）に上がった。

表 1 紙・板紙生産、輸出入、消費量推移

(単位：トン)

年	紙・板紙生産量	紙生産量	板紙生産量	輸出量	輸入量	国内消費量
1970	410,227	214,577	195,650	19,775	34,282	424,734
1980	1,479,296	492,473	986,823	154,347	89,445	1,414,394
1990	3,336,814	828,026	2,508,788	552,148	587,795	3,372,461
2000	4,494,156	1,260,292	3,233,864	781,445	1,390,947	5,103,658
2009	3,988,478	1,213,166	2,775,312	1,375,975	1,278,971	3,891,474
2010	4,069,074	1,218,695	2,850,379	1,202,393	1,505,121	4,371,802
2011	4,138,505	1,207,441	2,931,064	1,262,841	1,548,095	4,423,759
2012	4,229,391	1,155,817	3,073,574	1,368,739	1,543,896	4,404,548
2013	4,155,831	1,100,890	3,054,941	1,358,023	1,531,498	4,329,306
2014	4,178,449	1,094,969	3,083,480	1,342,342	1,541,572	4,377,679
2015	3,857,639	998,658	2,858,981	1,088,135	1,497,364	4,266,868
2016	3,937,591	928,089	3,009,502	1,253,320	1,524,118	4,208,389
2017	4,024,251	899,329	3,124,922	1,415,782	1,553,294	4,161,763
2018	4,253,598	881,066	3,372,532	1,446,479	1,536,871	4,343,990

(注) 国内消費量 = 紙・板紙生産量 - 輸出量 + 輸入量

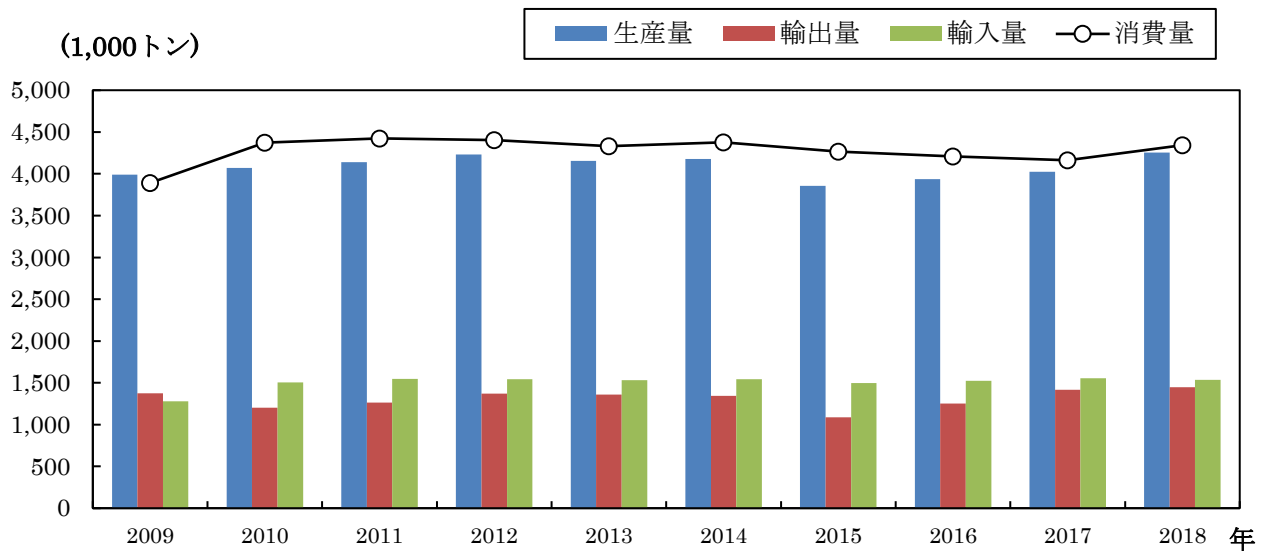


図1 紙・板紙生産、輸出入、国内消費量推移

表2 古紙輸出入、国内回収古紙、古紙消費量推移

(単位: トン)

年	古紙輸入量 (地域別) (注1)				国内回収古紙量 (注2)	古紙輸出量	古紙消費量 (注3)
	北米	日本	その他	合計			
1990	1,209,025	197	110,521	1,319,743	2,083,000		3,402,743
2000	508,066	108,265 (注4)	420,295	1,036,626	2,944,000		3,980,626
2009	286,720	117,565	173,463	577,748	2,865,000	44,007	3,442,748
2010	290,305	123,375	148,727	562,407	2,921,000	63,674	3,483,407
2011	294,053	181,069	125,921	601,043	2,941,000	65,511	3,542,043
2012	317,924	241,758	271,194	830,876	2,890,000	71,230	3,720,876
2013	301,733	292,811	176,414	770,958	2,970,000	65,786	3,740,958
2014	302,129	319,596	140,695	762,420	3,010,000	81,884	3,772,420
2015	253,022	218,558	77,883	549,463	2,930,000	106,416	3,479,463
2016	275,145	239,979	193,685	708,809	2,880,000	116,997	3,588,809
2017	354,557	372,353	396,680	1,123,590	2,410,000	135,163	3,533,590
2018	681,962	198,396	384,457	1,264,815	2,690,000	165,132	3,954,815

(注1) 2016年版から古紙輸入量地域は、これまでの「北米、欧州、その他」から「北米、日本、その他」に変更された

(注2) 国内回収古紙量は、国内で回収した古紙のうち国内製紙メーカーが購入した量

(注3) 古紙消費量 = 古紙輸入量 + 国内回収古紙量

(注4) 2000年の日本からの古紙輸入量について記載が無かったため、日本の財務省「貿易統計」を反映させた

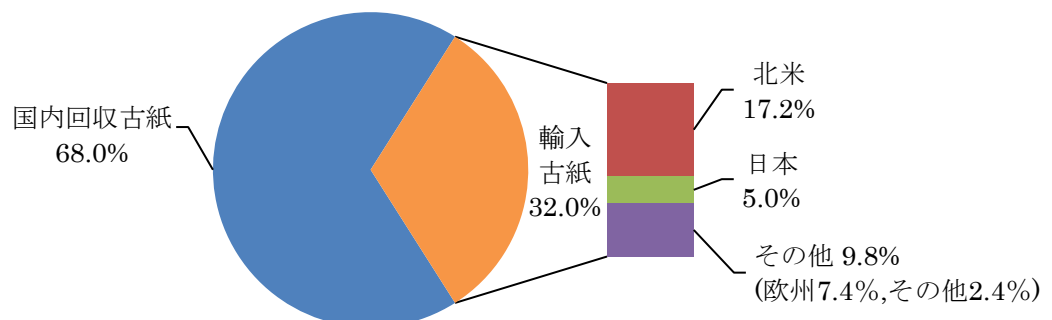


図2 2018年古紙消費構成比率

表3 古紙輸入分類統計

(単位：トン)

年	段ボール類	クラフト紙類	脱インキ類	パルプ代替	新聞・雑誌類	その他	合計
1990	544,233	127,052	101,946	11,955	317,478	217,079	1,319,743
2000	593,397	57,471	31,749	11,626	127,290	215,093	1,036,626
2009	508,844	23,906	17,393	3,184	3,096	21,325	577,748
2010	484,001	21,357	14,057	3,208	8,156	31,628	562,407
2011	546,419	15,163	11,042	6,797	5,973	15,649	601,043
2012	769,797	19,133	10,011	2,725	12,632	16,578	830,876
2013	698,920	19,886	7,966	7,826	17,946	18,414	770,958
2014	716,456	16,158	5,140	3,699	9,793	11,174	762,420
2015	538,101	9,174	373	868	0	947	549,463
2016	690,029	4,834	2,655	1,531	2,708	7,052	708,809
2017	1,052,413	3,947	20,470	5,753	6,449	34,558	1,123,590
2018	1,027,998	5,263	16,452	4,646	9,038	201,418	1,264,815

(注) 「その他」には、雑紙、ボール等を含む

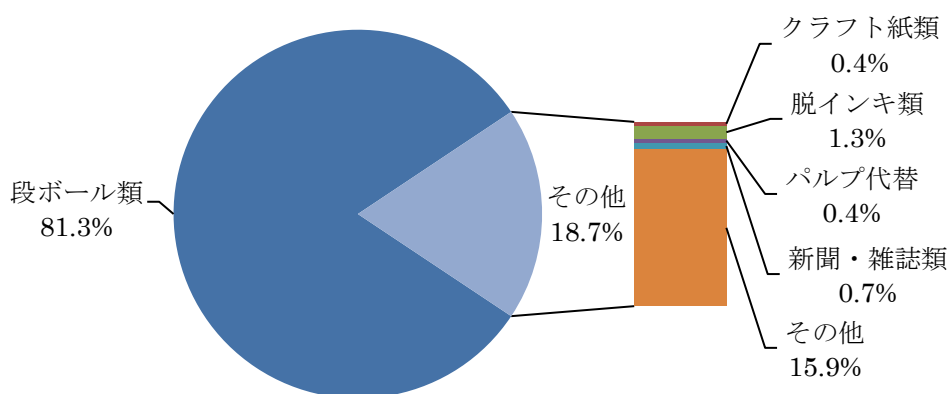


図3 2018年古紙輸入分類比率

表4 古紙回収率、利用率推移

(単位：トン、%)

年	紙・板紙消費量 (a)	国内回収古紙量 (b)	古紙パルプ消費量 (c)	パルプ消費量 (d)	古紙回収率 [(b)+古紙輸出量]/(a)	古紙利用率 (c)/[(c)+(d)]
1990	3,372,461	2,083,000	2,778,324	750,207	61.8	78.7
2000	5,103,658	2,944,000	3,236,813	1,175,318	57.7	73.4
2009	3,891,474	2,865,000	2,811,670	1,022,776	74.8	73.3
2010	4,371,802	2,921,000	2,842,586	1,071,822	68.3	72.6
2011	4,423,759	2,941,000	2,893,671	1,101,408	68.0	72.4
2012	4,404,548	2,890,000	3,059,158	1,053,369	67.2	74.4
2013	4,329,306	2,970,000	3,067,320	983,745	70.1	75.7
2014	4,377,679	3,010,000	3,086,485	990,060	70.6	75.7
2015	4,266,868	2,930,000	2,834,630	933,271	71.2	75.2
2016	4,208,389	2,880,000	2,920,355	966,468	71.2	75.1
2017	4,161,763	2,410,000	2,894,496	1,120,509	61.2	72.1
2018	4,343,990	2,690,000	3,222,165	1,045,588	65.7	75.5

(注) パルプ消費量には溶解用パルプを含まない

国内回収古紙量は、国内で回収した古紙のうち国内製紙メーカーが購入した量

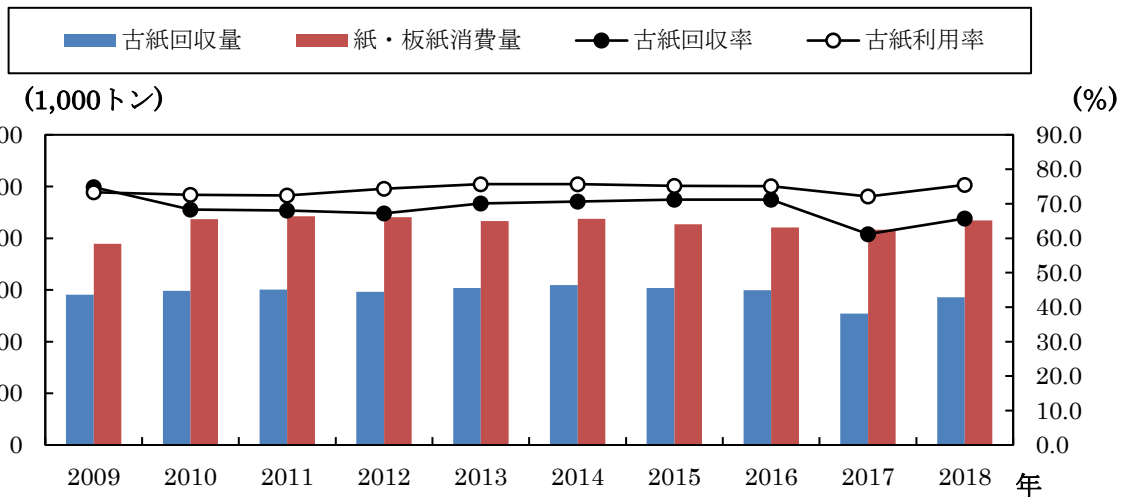


図4 紙・板紙消費量、古紙回収量、古紙回収率、利用率推移

(注) 古紙回収量 = 国内回収古紙量 + 古紙輸出货量

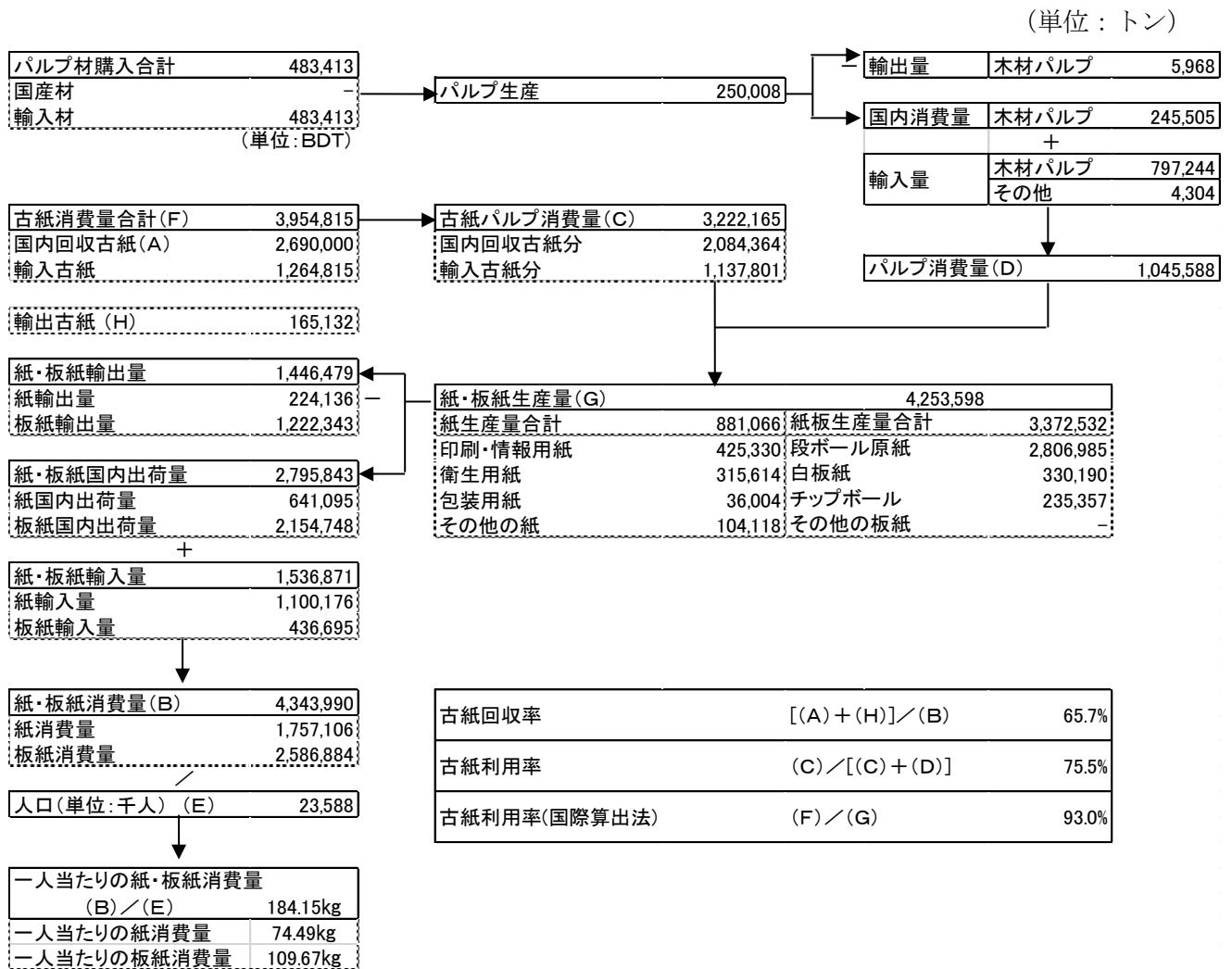


図5 台湾製紙産業2018年 生産消費一覧表